



立川療護園 はごろもの音 フォーシーズン



東京都
社会福祉
事業団



Four Seasons

No.99

2024年3月25日

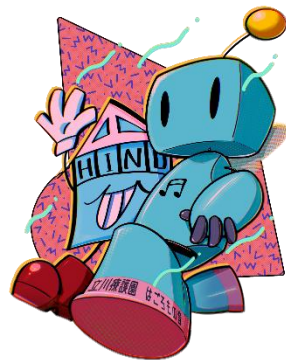
発行/編集：立川療護園 はごろもの音 〒190-0021 立川市羽衣町2-63-3 Tel 042-512-7401 Fax 042-512-7604 HP <https://www.jigyodan.org/hagoromonone/>

りっぱさい かいさい 立羽祭 開催

令和5年10月14日 立川療護園 はごろもの音において、初めての秋まつりを開催しました。

これまでの「HINOフェス」から名を改め、現在の住所である立川市と羽衣町から1文字ずつ取って、「立羽祭」という名称になりました。

当日は、利用者様・職員ともにお揃いの緑色のTシャツを着て、気分も高まります。Tシャツには園内の応募の中から選ばれたオリジナルキャラクター「ハゴロボ」をプリントしました。



ハゴロボ



ステージ発表では、利用者様のライブ、遠藤 頌 豆様の尺八、だけきだん様の和太鼓演奏、東京女子体育大学チアリーディング部の演技、職員DJ、立川市奇術愛好会のマジックショー等、様々なステージで利用者様からも歓声が上がりました。また、多摩療護園、こぶしの会、睦月会わかばの家、希望の郷 東村山、に出演いただき、生產品やクッキー、コーヒーの販売があり、大盛況でした。他にも、キッチンカーや分身ロボット「OriHime」（オリヒメ）体験コーナーを設けました。



移転後初めての秋まつりで、あまり人が来なかったらどうしよう、と心配でしたが、ご家族様その他、地域の方、お近くの施設の方など合計180人以上の来園者数となり、笑顔はじけるお祭りとなりました。ボランティアの方をはじめ、出店やステージにご協力いただいたみなさまもありがとうございました。



第1回立羽祭を振り返り、次回は、更に楽しめるような企画を準備したいと思っています。来年も是非、みなさまのご来場をお待ちしています。

たちかわりょうごえん

立川療護園

はごろもの音 イベントの様子

- 当園で行われたイベントの様子をお伝えします。

かいせつきねん
開設記念イベント

きねなおと

木根尚登さんコンサート

(7月19日)

開設記念イベントとして、羽衣町出身のミュージシャンT M NETWORKの木根尚登さんによる弾き語りコンサートを開催しました。『Get Wild』、『ノックは3回』等の曲を歌っていただきました。利用者様のハーモニカとのセッションも行われました。木根さんの歌を聴くことができる貴重な時間を過ごし、感激しました。利用者様から「また来て欲しい」との声もたくさん聞かれました。

地元ゆかりのアーティストの方に来ていただき、思い出に残る良い開設記念となりました。



なつ

夏まつり

(8月15日)

夏まつりでは、はっぴを着た職員が、かき氷やわたあめの出店を開いたり、ヨーヨー釣りを行ったり、スクリーンには花火も映し出され、楽しめました。



ボッチャ大会 (10月1日)

日野市を中心としたいくつかの福祉施設と合同で行われる、「みんなといっしょの運動会」に当園の利用者様も参加しました。日頃のホール活動で鍛えた“ボッチャ力”を存分に発揮され、他施設の参加者とともに、みなさん楽しまれた様子でした。



サンタ・セシリア・ベルクワイア/コスモスベアーズ クリスマス会 (12月19日)

クリスマス会では、本格的な演奏を鑑賞しました。会場（ホールEAST）を広く使用するため、今回は2部制、定員入れ替えて開催しました。

♪ 第1部 サンタ・セシリア・ベルクワイア様のハンドベル演奏

イギリスのハンドベル、「イングリッシュベル」は銅でできているため、素手では触れないそうです。ベルの音色や響きは、クリスマスソングにぴったりでした。

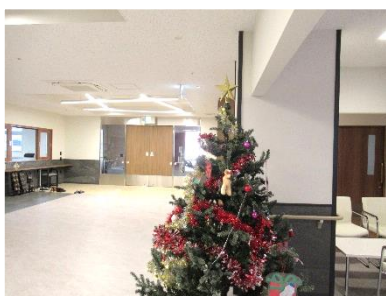
♪ 第2部 フルートアンサンブル コスモスベアーズ様のフルート演奏

クリスマスソングの他、『木霊』や『銀河鉄道999』等の曲をイラストとともに演奏されました。キラキラ輝くフルートに、演奏後も興味津々な利用者様もいらっしゃいました。

シャンメリーとスイーツを楽しまれた後は、鈴の音と共にサンタクロースとトナカイが登場し、プレゼントに大喜びでした。



～ 園内のツリー&イルミネーション ～



エントランスホール



おくじょう
屋上



しょうめんげんかんまえ
正面玄関前

OriHime (オリヒメ) 活動

分身ロボット OriHime (オリヒメ) を活用し、モノレール立川南駅での野菜販売や、ボランティアさんの協力を得て買い物代行を実施しています。利用者様も積極的に活動に参加し、「おもしろいからまたやってみたい」といった声もあがっています。利用者様の生活に彩りができるような活動の一助となる ICT の活用に、今後も力を入れていきます。



国立音楽大学音楽療法研究会演奏会 (1月19日)

国立音楽大学音楽療法研究会の訪問演奏会がありました。学生3名がギターや電子ピアノ、リコーダー、タンバリン等、色々な楽器と美しい歌声で、『こんにちのはのうた』、『ケセラセラ』、『Happiness』、『海に見える街』などを一緒に歌いました。特に、歌いながらじゃんけんをする『やきいもグーチャーパー』が盛り上がりました。また学生さんたちに会える日を楽しみにしています。



節分・豆まき (2月1日)



節分の豆まきを行いました。「鬼は外一、福は内一」
今年は新人の鬼も登場！ 利用者様が鬼めがけてコントロール良く豆（ラップにくるんだ落花生）をまいていただいたおかげで、「福」がたくさん訪れる年になりそうです。

新春イベント（2月13日）



1月に開催予定だった新春イベントが延期になっていましたが、2月13日に、題して『新春 爆笑 はごろも初笑い 24』を開催しました。

内容は、

① 二人羽織 早食い大会 … 職員が2人1組となり、袖に手を通さずに羽織を着た人の後ろから、もう一人が羽織の中に入って袖に手を通し、前の人に物を食べさせるゲームです。思うように口に入らない様子を見て、もどかしかったり笑ったり、利用者様から「がんばれー」と声援もありました。優勝は事業推進グループでした。

② 新春運試しトーナメント … わさび入りのたこ焼きを食べたら負け、の激辛ロシアンルーレットを所属対抗のトーナメント方式で行いました。たこ焼きの中にわさびが入っているので、見た目は全然わかりません。おそろおそろ食べる職員の様子をじっと見たり、わさびを食べて苦しむ職員を見て笑ったり心配そうにしたり、盛り上がりました。優勝は福祉サービスグループでした。その他にも、利用者様から今年の抱負をお話ししていただいたり、甘いおしるこを食べたりしました。利用者様も職員も大笑いし、延期になってもイベントを開催することができてよかったと思いました。今年も利用者様が楽しめるイベントをたくさん企画、実施できたらと思います。



園内の飾り付けの紹介

日中活動の創作活動で利用者様と一緒にが作った飾りをホール前に飾っています。利用者様にも好評です。面会や見学の際に、ご覧ください。



ひ の たちかわ らくせいしき ひっこ ようす 日野から立川へ 落成式&引越しの様子

移転前の昨年4月28日に落成式が行われ、多くの福祉関係者や、都議会・市議会議員の方などに参列いただきました。多くの方々の当園に対する期待を強く感じるとともに、セーフティネットとしての役割がより一層求められていることを自覚し、身が引き締まる思いです。

5月24日引越当日は、利用者、職員ともに、期待と不安が入り混じって、どこかソワソワしながら引越しの準備を進めていたのを思い出します。新しい入浴設備、空調のある廊下、ほぼ全員で集まって食べる食堂など、日野療護園からアップデートされた施設の様子にわくわくしながら、立川療護園はごろもの音での生活が始まりました。



編 集 後 記

フォーシーズンの発行が遅れ、大変申し訳ございませんでした。立川での生活にも慣れてきて、利用者の皆様も日々の生活にゆとりが出てきました。今後も、フォーシーズンを通して、園の様子をお伝えしていきたいと思います。(フォーシーズン担当)